

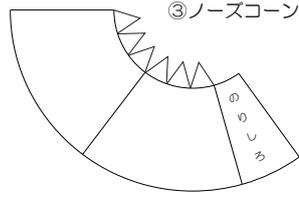
M-3Sペーパークラフト

scale 1/100

(C) FUKUDA Planning 2005 Ver.1.1.1

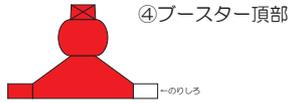
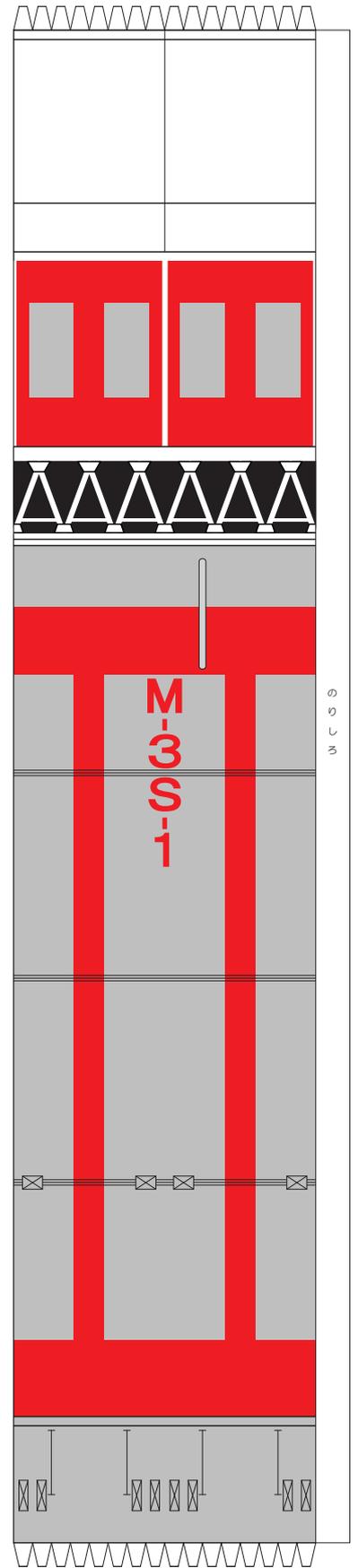


②ノーズコーン頂部



③ノーズコーン

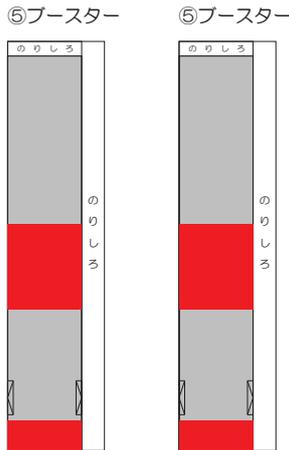
①M-3Sロケット本体



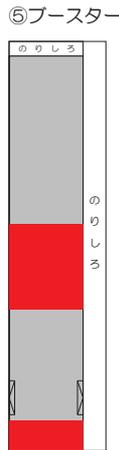
④ブースター頂部



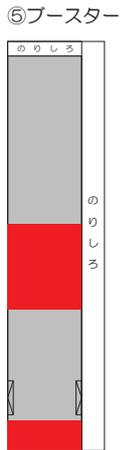
④ブースター頂部



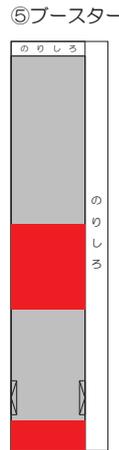
⑤ブースター



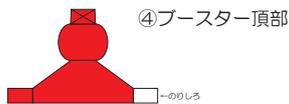
⑤ブースター



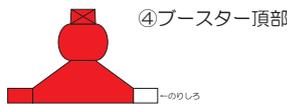
⑤ブースター



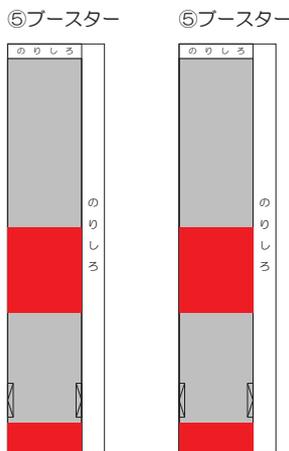
⑤ブースター



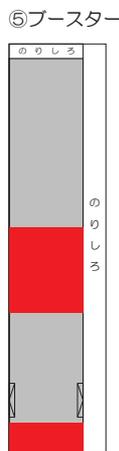
④ブースター頂部



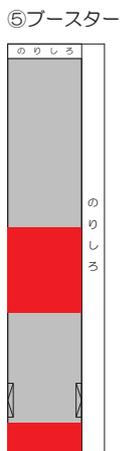
④ブースター頂部



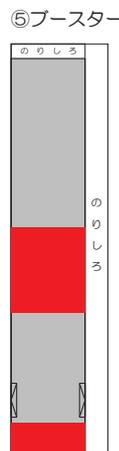
⑤ブースター



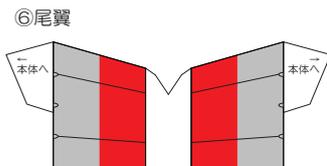
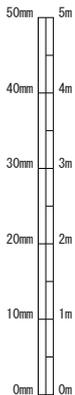
⑤ブースター



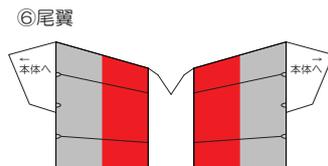
⑤ブースター



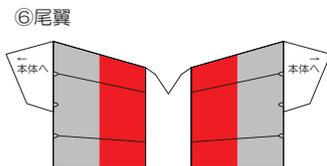
⑤ブースター



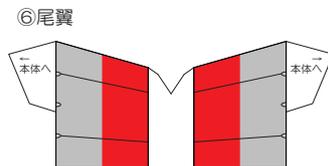
⑥尾翼



⑥尾翼

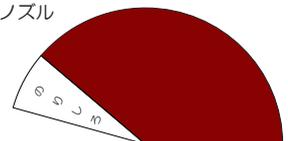


⑥尾翼



⑥尾翼

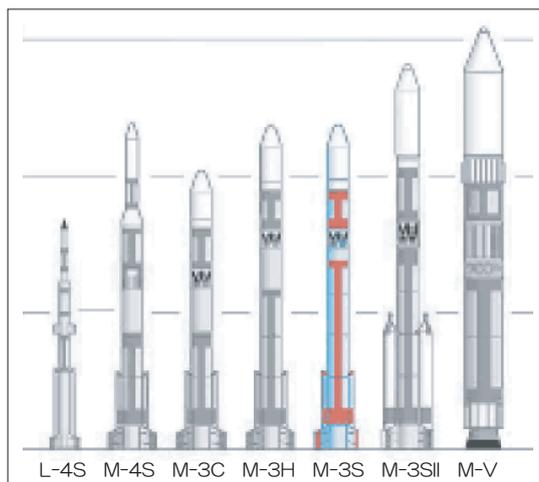
⑦ノズル



M-3S ペーパークラフト

ミュウロケットは、現在のJAXA宇宙科学研究本部の前身に当たる、東大宇宙航空研究所（のち文部省宇宙科学研究所）の開発したロケットです。

このペーパークラフトで取り上げているM-3Sは、ミュウロケットの第3世代で、ペイロードはM-3Hと同等ですが、1段目にも飛行制御装置を装備し、軌道投入精度をいっそう向上させました。無誘導の重力ターン方式で始まったミュウロケットは、M-3Sに至って全段で飛行制御を行えるようになりました。



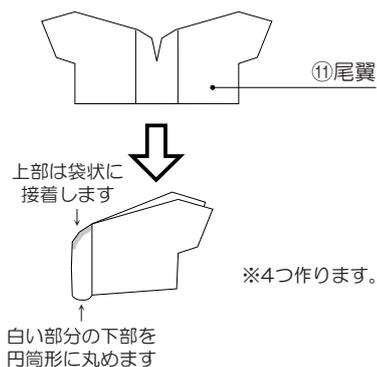
宇宙航空研究開発機構（JAXA）提供の図を一部改変

	M-3S
全長	23.8m
直径	1.41m
全重量	47.8t
打上げ能力	300kg
打上げた衛星	たんせい4号 ひのとり てんま おおぞら
運用年	1980～84

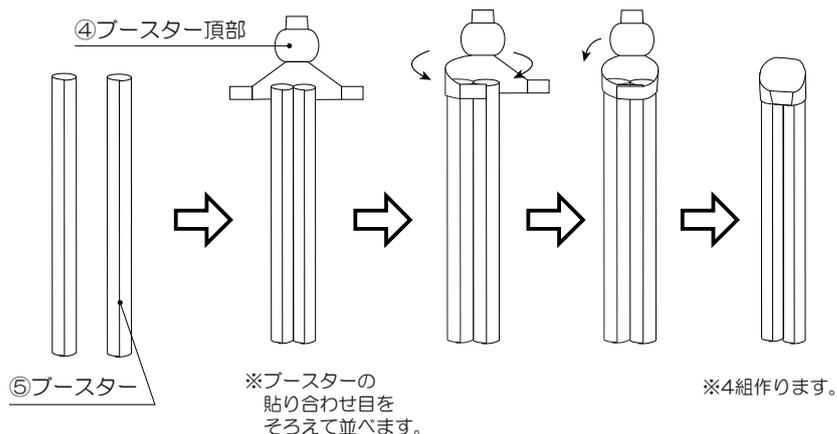
JAXAホームページおよび「スペース・ガイド2003」（丸善）掲載のデータより作成

組立説明図

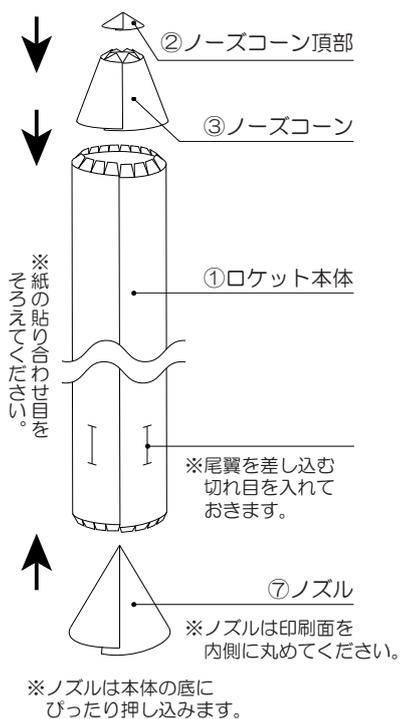
1. 尾翼の組み立て



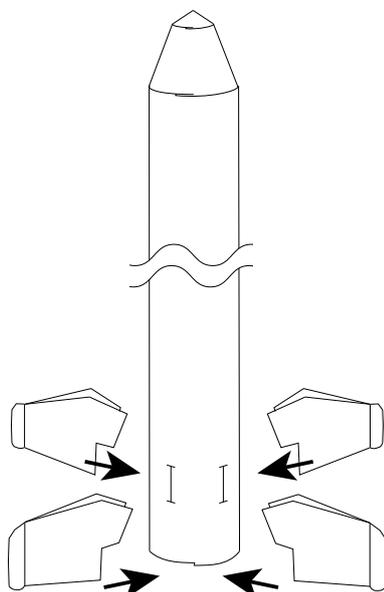
2. ブースターの組み立て



3. ロケット本体の組み立て



4. 尾翼の取り付け



5. ブースターの取り付け

